

【科学と人間生活】

＜学習内容について＞

自然に対する理解や科学技術の発展が、私たちの日常生活や社会にいかに関与を与え、どのような役割を果たしてきたかについて、身近な事物・現象を取り上げながら学んでいきます。

中学校理科の内容を基礎としながら、科学的な見方や考え方を養い、科学に対する興味・関心を高め、総合的な科目です。

＜教材について＞

教科書：『高等学校 科学と人間生活 改訂版』（啓林館）

＜レポートについて＞

レポートの回数は、前・後期それぞれ3回です。

〔前期〕

第1回：「科学技術の発展」「生命の科学」ヒトの生命現象

第2回：「生命の科学」微生物とその利用

第3回：「物質の科学」材料とその利用、医療と食品

〔後期〕

第1回：「光や熱の科学」光の性質とその利用、熱の性質とその利用（熱とは何か）

第2回：「光や熱の科学」熱の性質とその利用（エネルギーの利用）「宇宙や地球の科学」太陽と地球

第3回：「宇宙や地球の科学」自然景観と自然災害

＜学習の進め方について＞

教科書をすみずみまで読んで、レポートを仕上げましょう。少し考えなければ解答できない問題もありますが、ヒントは教科書に隠れているので、根気強く取り組みましょう。E テレ「高校講座 科学と人間生活」は、実験や観察・最新の科学情報が紹介されています。適宜視聴しながら、理解を深めましょう。

＜スクーリングについて＞

半期で5時間の出席が必要です。教科書を必ず持ってきてください。基本的には提出期限日が近いレポートの内容を扱います。

＜評価について＞

評価は、試験成績と平常点（レポートの成績、実技成績、学習態度等）を以下の観点をもとに総合して100点法で行い、30点以上を合格とする。

〔知識・技能〕

自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについて理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技術を身に付けている。

〔思考・判断・表現〕

観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に考察し表現している。

〔主体的に学習に取り組む態度〕

自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとしている。